

授業科目 嚥下・摂食障害

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	言語
今井信行、西尾正輝		開講時期	前期 a	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】					
摂食・嚥下障害について、関連器官の解剖学的形態、運動様式を把握し、機能障害の発症原因を理解するとともに、検査・評価方法、診断方法、治療・訓練方法について学習する。					
【学習目標】					
1、摂食器官の構造と各器官の運動様式を理解する					
2、嚥下器官の構造と各器官の運動様式を理解する					
3、食物の認知機構を理解する					
4、咀嚼運動、嚥下運動に関して各関連器官の協調運動を理解する					
5、摂食・嚥下障害の発症原因と、発現する機能障害を理解する					
6、摂食・嚥下障害の検査・機能評価方法と診断方法を理解する					
7、摂食・嚥下障害の治療・訓練方法を理解する					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	摂食・嚥下に関連する器官の形態、感覚、運動				講義
2	口腔内の食物認知と咀嚼運動の制御機構				講義
3	嚥下運動の制御機構				講義
4	摂食・嚥下障害の発症原因と機能障害の分類				講義
5	摂食・嚥下障害の検査・診断				講義
6	摂食・嚥下障害の治療・訓練				講義
7	摂食・嚥下障害のリハビリテーション（間接・直接訓練）				講義
8	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	よくわかる摂食・嚥下のメカニズム		山田好秋	医歯薬出版	2004・3,990円
	摂食・嚥下障害の患者さんと家族のために 第1巻 総合編	西尾正輝	インテルナ出版	2008・1,050円	
	摂食・嚥下障害の患者さんと家族のために 第2巻 嚥下食編	西尾正輝	インテルナ出版	2008・2,500円	
参考書	摂食・嚥下リハビリテーション 第2版		才藤栄一、向井美恵		医歯薬出版 2007・7,200円
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、定期試験			【履修上の留意点】		